

## 第64回日本学生科学賞 最終審査進出研究作品概要

JB067CE	中学	生物	滋賀県
学校名	大津市立瀬田中学校		
研究作品タイトル	謎の生物ミミズの研究 パート6 ミミズは地球の大地！？		
研究者氏名 (共同の場合はグループ)	樋口 幸陽		
指導教諭氏名	芦田 康晴		

### 【動機】

目も手も足もないミミズの魅力にとりつかれて6年目となる。みんなに嫌われているこの生物の有用性について発表できれば、ミミズへの「気持ち悪い」などの汚名を返上できるのではないかと思います。ミミズと植物、大地との関係について研究を続け、努力している。

### 【方法】

今回の研究では、ミミズとはどういう生物なのかを身体の仕組みや土中での動きなど、ミミズ自体をじっくり観察して洗い直した。  
また、実験では、ミミズの匹数と土の量の関係も含めて調査し、根菜類のハツカダイコンを使用して明確なデータ、精度の高い実験を試みた。

### 【結果】

ミミズが、社会的距離を保ち蠕動運動を活発に行い、栄養価の高い団粒状土を排出した土は、土壌改良が進みその結果、ハツカダイコンの生長を導くことにつながった。つまり、ミミズは植物の根の生長を助ける生物であることを立証することに成功した。

### 【まとめ】

ミミズは、不必要な身体の一部を排除することによって、社会的距離を保ち、蠕動運動を行い、土壌改良を進めてきた。その結果、ハツカダイコンの根の生長にも明確な差ができ、「ミミズは、植物の根の生長を助ける生物である」ということをはっきり立証できた。

### 【展望】

「ミミズは地球の大地！？」とサブタイトルをつけたのは、自分は将来、砂漠化が進んだ場所や荒れ果てた大地にミミズを繁殖させて土壌改良し、植物を増やして地球の大地を潤す研究をしたいと考えている。この研究結果は、その未来につながる一歩といえる。